

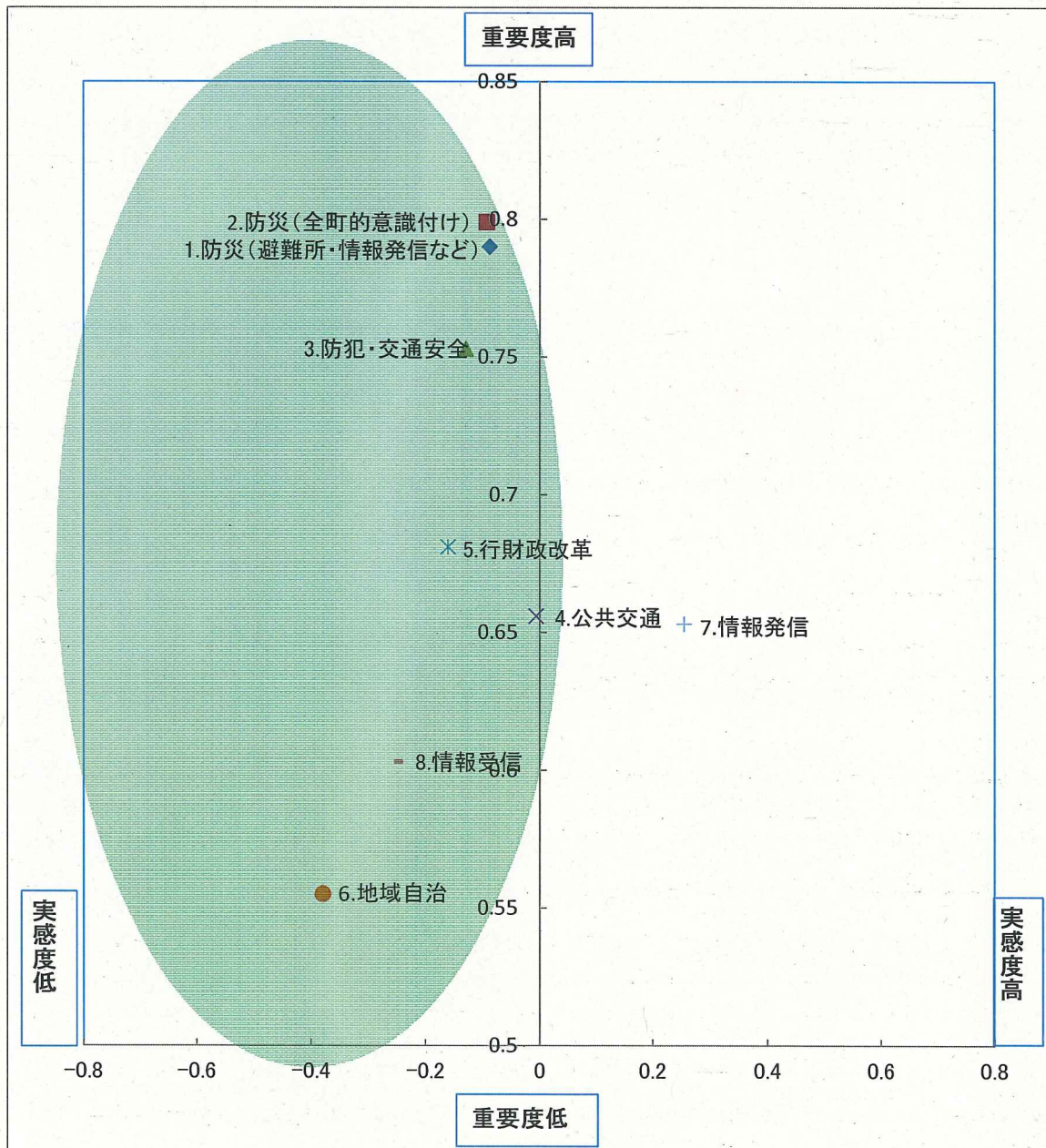
●町政運営・地域自治・地域安全分野

町政運営・地域自治・地域安全分野では、「防災(全町の意識付け)に関する生活課題」、次いで「防災(避難所・情報発信など)に関する生活課題」が、実感度がマイナスと低く、なおかつ重要度が50%以上と高い項目です。

また、最も重要度が高いのが、「防災(全町の意識付け)に関する生活課題」であり、この分野の中では重視して取り組む必要があります。

◆町政運営・地域自治・地域安全分野の実感度・重要度

生活課題	実感度	重要度
1.防災(避難所・情報発信など)	-8.6%	79.0%
2.防災(全町の意識付け)	-9.1%	79.9%
3.防犯・交通安全	-12.8%	75.3%
4.公共交通	-0.6%	65.6%
5.行財政改革	-16.0%	68.1%
6.地域自治	-37.9%	55.5%
7.情報発信	25.5%	65.3%
8.情報受信	-25.4%	60.3%



○町政運営・地域自治・地域安全分野の『年代別』の実感度

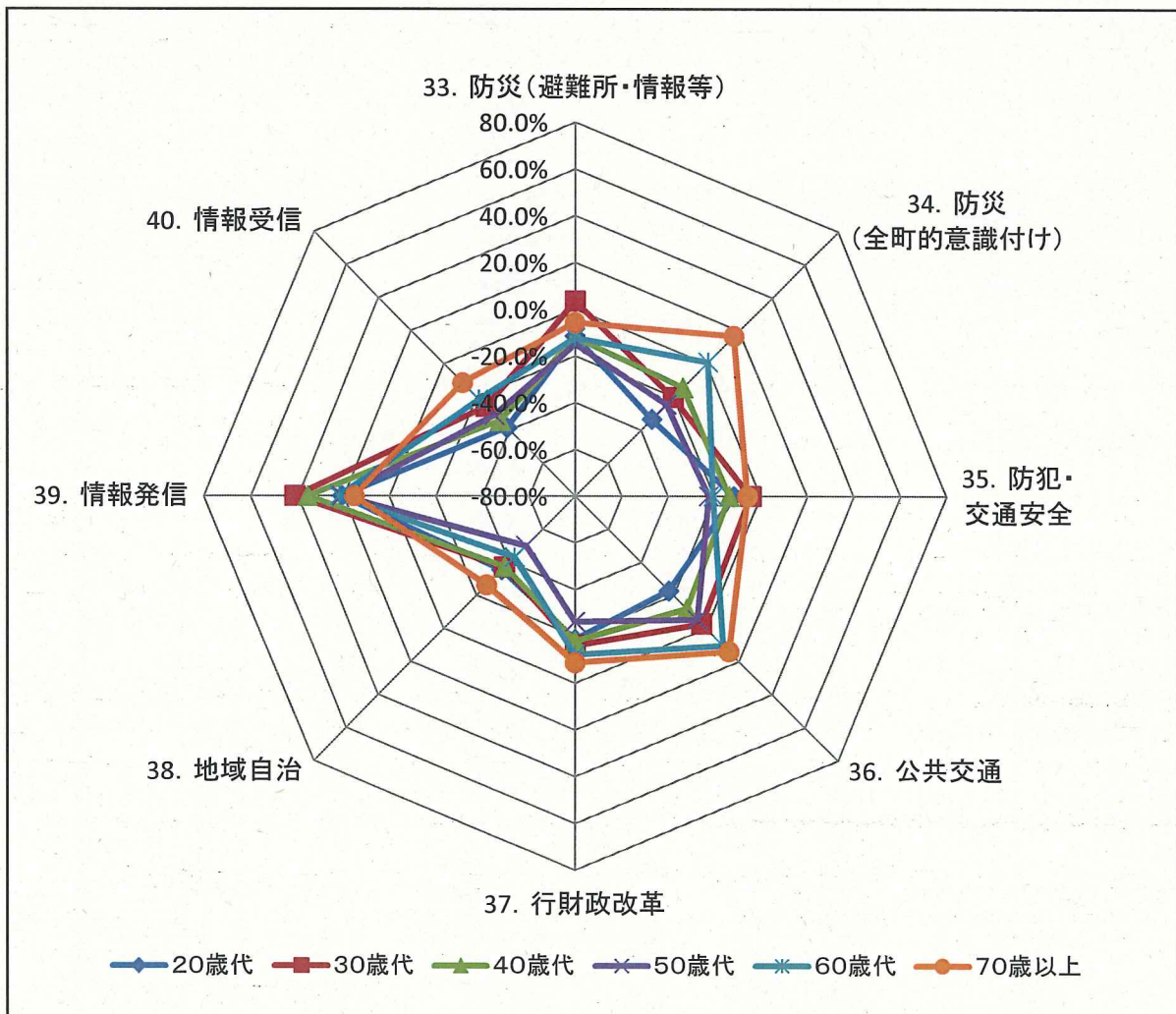
年代別の実感度を比較すると、各項目で30歳代・70歳以上の実感度が高く20歳代・50歳代の実感度は低い結果となった。

また、「防犯(全町の意識付け)に関する生活課題」「公共交通に関する生活課題」などは年代によって特に実感度に大きな差異が見られた。

この分野では、**30歳代の情報発信に関する生活課題の41.3%が最も高い評価**をしており、**50歳代の地域自治に関する生活課題の-50.0%が最も低い評価**となった。

◆町政運営・地域自治・地域安全分野の『年代別』の実感度

生活課題	実感度					
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1. 防災(避難所・情報発信など)	-11.5%	3.5%	-11.9%	-14.9%	-12.2%	-5.7%
2. 防災(全町の意識付け)	-33.3%	-20.3%	-14.2%	-24.3%	1.2%	17.0%
3. 防犯・交通安全	-11.5%	-4.2%	-13.4%	-22.3%	-20.3%	-5.7%
4. 公共交通	-22.9%	-2.8%	-11.9%	-5.4%	10.5%	13.9%
5. 行財政改革	-18.8%	-16.1%	-17.9%	-26.4%	-12.2%	-8.8%
6. 地域自治	-35.4%	-37.1%	-37.3%	-50.0%	-43.0%	-26.3%
7. 情報発信	20.8%	41.3%	35.8%	20.9%	22.1%	15.5%
8. 情報受信	-38.5%	-25.9%	-34.3%	-31.1%	-21.5%	-11.3%



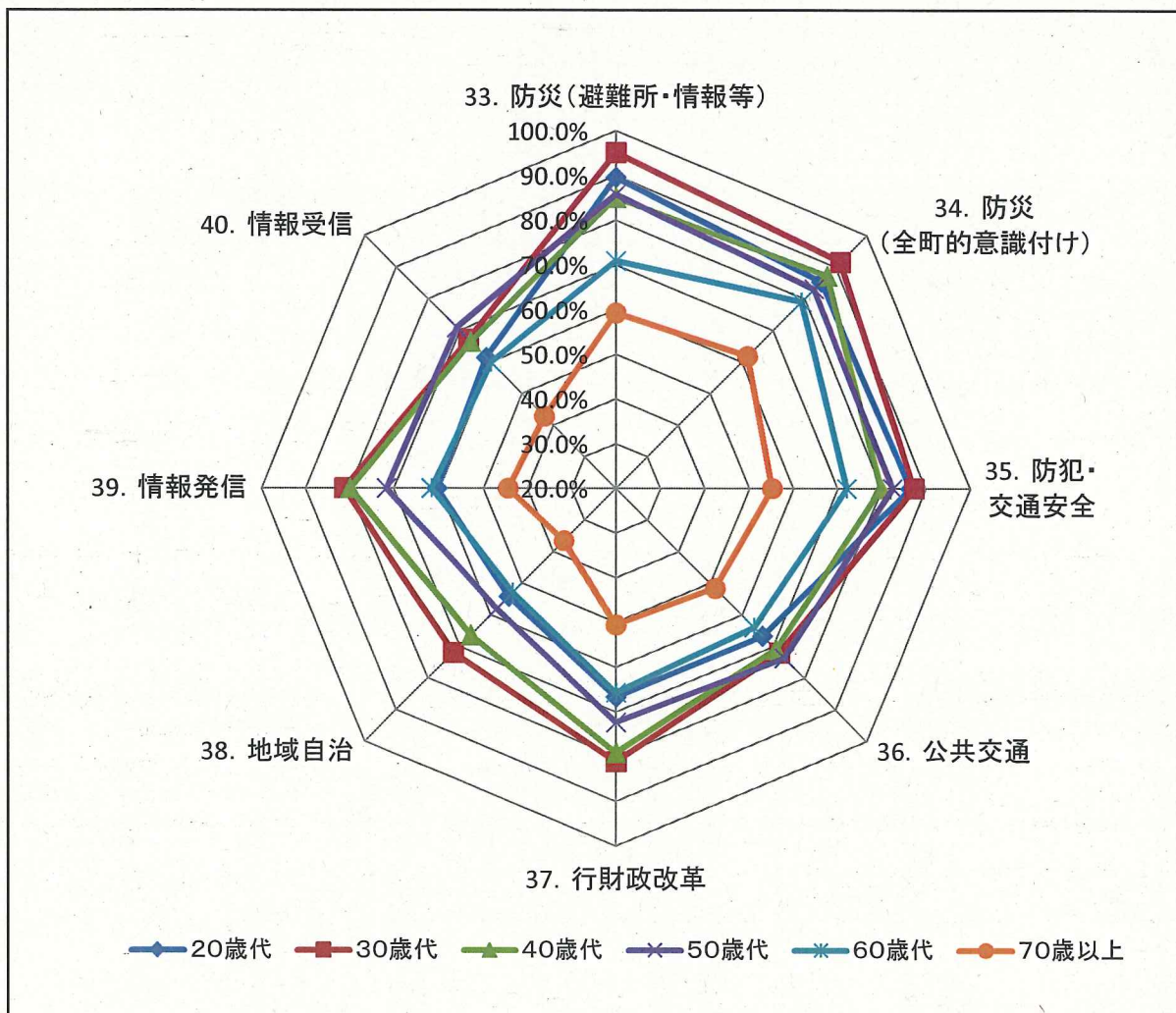
○町政運営・地域自治・地域安全分野の『年代別』の重要度

年代別の重要度を比較すると、各項目で30歳代・50歳代の重要度が高く、70歳以上の重要度は低い結果となった。

また、「防災(避難所・情報発信など)に関する生活課題」「地域自治に関する生活課題」「情報発信に関する生活課題」などは年代によって特に重要度に大きな差異が見られた。

◆町政運営・地域自治・地域安全分野の『年代別』の重要度

生活課題	重要度					
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1. 防災(避難所・情報発信など)	89.6%	95.1%	85.1%	85.8%	70.9%	59.3%
2. 防災(全町的意識付け)	85.4%	91.6%	87.3%	83.1%	79.1%	61.9%
3. 防犯・交通安全	86.5%	87.4%	79.9%	82.4%	72.1%	55.2%
4. 公共交通	66.7%	72.0%	70.9%	73.6%	64.0%	51.5%
5. 行財政改革	66.7%	81.1%	79.1%	72.3%	65.7%	50.5%
6. 地域自治	54.2%	72.0%	66.4%	58.1%	52.9%	36.6%
7. 情報発信	60.4%	81.1%	79.9%	71.6%	61.6%	44.3%
8. 情報受信	61.5%	67.1%	66.4%	70.9%	59.9%	42.8%



○町政運営・地域自治・地域安全分野の『区域別』の実感度

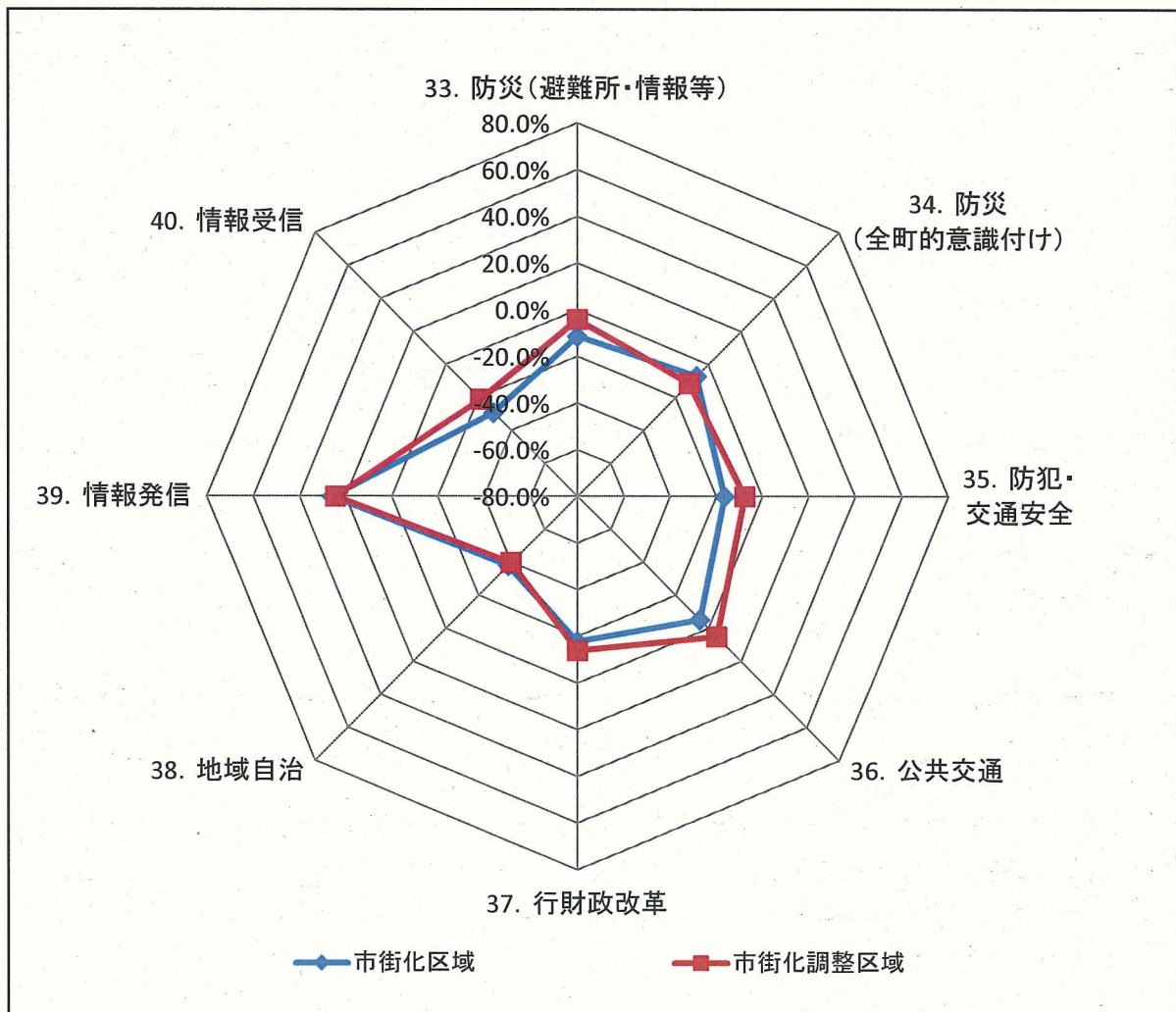
区域別の実感度を比較すると、各項目によって市街化区域と市街化調整区域の割合に高低があるように見られる。

また、「防犯・交通安全に関する生活課題」「公共交通に関する生活課題」「情報受信に関する生活課題」などは区域によって特に実感度に大きな差異が見られた。

この分野では、**市街化区域の情報発信に関する生活課題の25.8%が最も高い評価**をしており、**市街化調整区域の地域自治に関する生活課題の-39.8%が最も低い評価**となった。

◆町政運営・地域自治・地域安全分野の『区域別』の実感度

生活課題	実感度	
	市街化区域	市街化調整区域
1. 防災(避難所・情報発信など)	-11.4%	-4.2%
2. 防災(全町的意識付け)	-7.1%	-11.6%
3. 防犯・交通安全	-16.4%	-7.6%
4. 公共交通	-5.2%	5.1%
5. 行財政改革	-17.7%	-13.8%
6. 地域自治	-38.2%	-39.8%
7. 情報発信	25.8%	24.3%
8. 情報受信	-29.3%	-21.2%



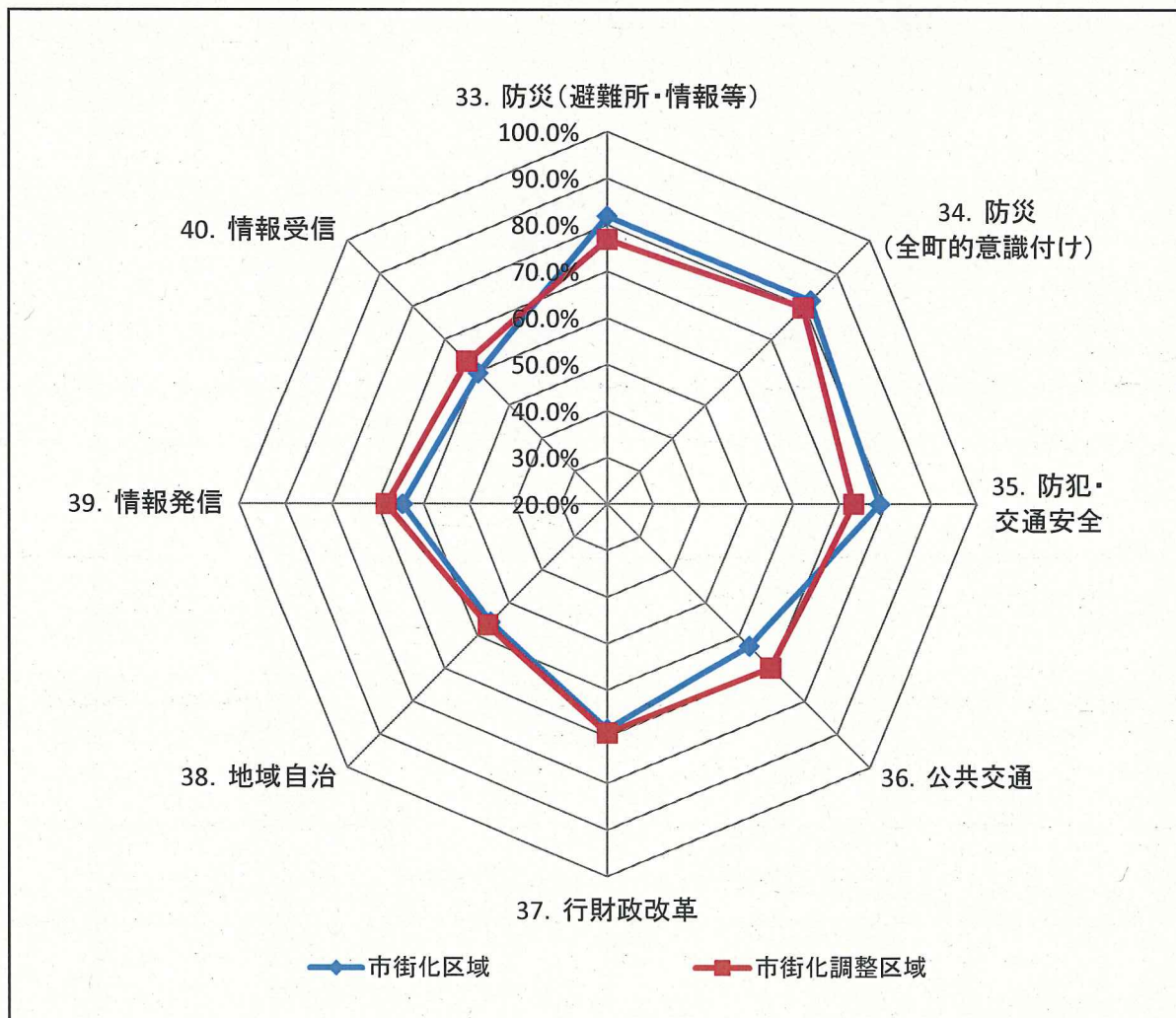
○町政運営・地域自治・地域安全分野の『区域別』の重要度

区域別の重要度を比較すると、各項目にもよるが、防災・防犯・交通安全などに関することでは市街化区域のほうが高く、公共交通・情報などに関することでは市街化調整区域のほうが高いように見られる。

また、「公共交通に関する生活課題」などは区域によって特に重要度に大きな差異が見られた。

◆町政運営・地域自治・地域安全分野の『区域別』の重要度

生活課題	重要度	
	市街化区域	市街化調整区域
1. 防災(避難所・情報発信など)	81.9%	76.8%
2. 防災(全町的意識付け)	81.9%	79.7%
3. 防犯・交通安全	78.8%	73.2%
4. 公共交通	63.2%	69.8%
5. 行財政改革	68.4%	69.2%
6. 地域自治	55.9%	56.8%
7. 情報発信	64.5%	68.1%
8. 情報受信	59.7%	63.3%



○町政運営・地域自治・地域安全分野の『学区別』の実感度

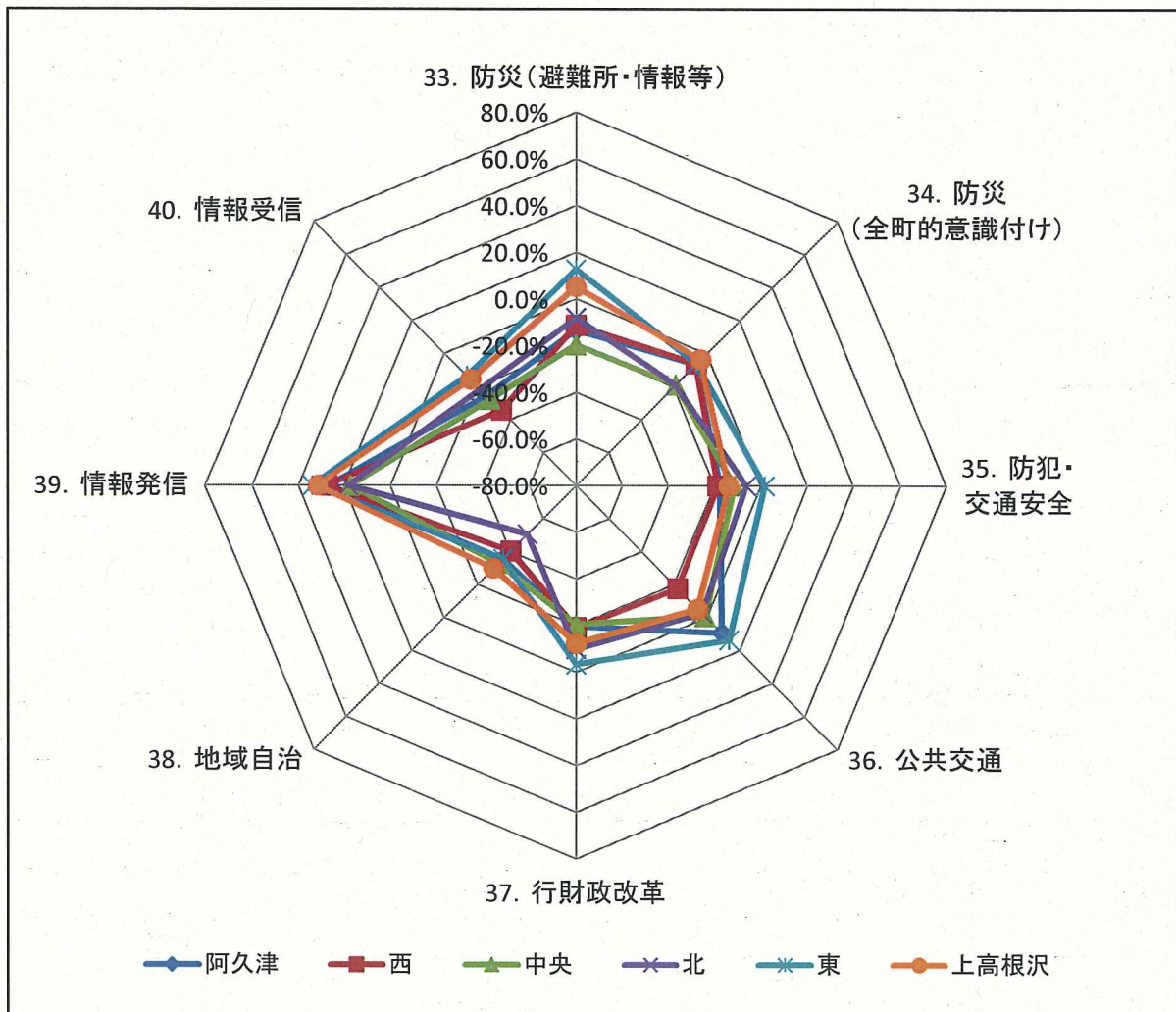
学区別の実感度を比較すると、各項目にもよるが、東小学校の実感度が高く、西小学校・中央小学校の実感度は低い結果となった。

また、「防災(避難所・情報発信など)に関する生活課題」「公共交通に関する生活課題」などは学区によって特に実感度に大きな差異が見られた。

この分野では、東小学校の情報発信に関する生活課題の33.9%が最も高い評価をしており、西小学校・中央小学校に関する生活課題の-50.5%が最も低い評価となった。

◆町政運営・地域自治・地域安全分野の『学区別』の実感度

生活課題	実感度					
	阿久津	西	中央	北	東	上高根沢
1. 防災(避難所・情報発信など)	-13.3%	-11.3%	-19.7%	-8.1%	12.7%	5.3%
2. 防災(全町的意識付け)	-6.3%	-6.2%	-18.9%	-18.9%	-5.9%	-3.5%
3. 防犯・交通安全	-17.7%	-18.6%	-11.5%	-6.3%	1.7%	-14.0%
4. 公共交通	9.2%	-17.5%	-0.8%	-2.7%	13.6%	-5.3%
5. 行財政改革	-19.6%	-19.1%	-20.5%	-9.9%	-3.4%	-12.3%
6. 地域自治	-35.4%	-40.2%	-32.8%	-50.5%	-35.6%	-29.8%
7. 情報発信	26.2%	27.3%	17.2%	18.0%	33.9%	31.6%
8. 情報受信	-25.5%	-34.5%	-27.9%	-21.6%	-13.6%	-15.8%



○町政運営・地域自治・地域安全分野の『学区別』の重要度

学区別の重要度を比較すると、各項目にもよるが、西小学校・東小学校・上高根沢小学校の重要度が高く、北小学校の重要度は低い結果となった。

また、「行財政改革に関する生活課題」などは学区によって特に重要度に大きな差異が見られた。

◆町政運営・地域自治・地域安全分野の『学区別』の重要度

生活課題	重要度					
	阿久津	西	中央	北	東	上高根沢
1. 防災(避難所・情報発信など)	81.5%	88.1%	75.4%	68.5%	79.7%	73.7%
2. 防災(全町的意識付け)	81.5%	85.6%	74.6%	64.9%	85.6%	86.0%
3. 防犯・交通安全	77.1%	86.1%	66.4%	64.0%	77.1%	73.7%
4. 公共交通	67.5%	64.4%	69.7%	52.3%	72.0%	71.9%
5. 行財政改革	66.4%	76.3%	68.0%	54.1%	68.6%	80.7%
6. 地域自治	58.3%	57.7%	60.7%	39.6%	57.6%	52.6%
7. 情報発信	66.8%	69.1%	63.1%	59.5%	65.3%	73.7%
8. 情報受信	60.9%	61.3%	57.4%	59.5%	66.1%	57.9%

